






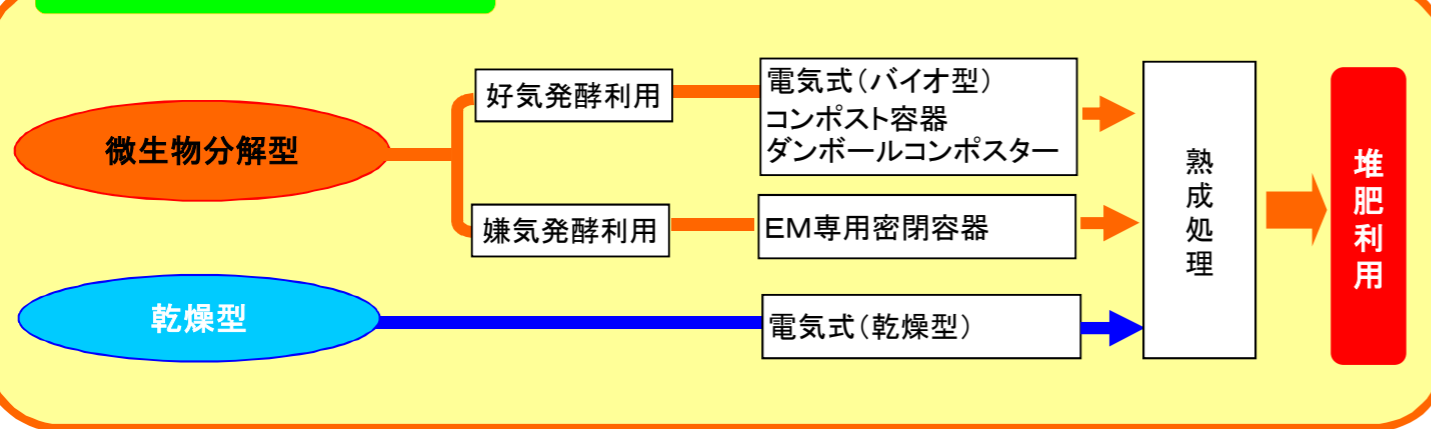
生ごみ処理機器 比較表



自分の家庭に合ったものを選びましょう！

種別	電気式【バイオ型】	電気式【乾燥型】	コンポスト容器	EM専用密閉容器	ダンボールコンポスター
種別	 微生物が活動しやすいようかかはんや加熱を行い、微生物の力で生ごみを発酵・分解する	 生ごみをかかはんしながら熱風を送り、乾燥させて減量する	 生ごみ、乾いた土、落ち葉などを入れ、土の中の微生物の力で生ごみを分解する	 空気のない状態で働く微生物の活動を利用するもので、EMほかしという発酵促進剤によって生ごみを発酵させる	 ダンボール箱にピートモスや腐葉土などを入れたものに生ごみを入れ、土の中の微生物の力で分解する
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●微生物を利用するので電気代が安い ●腐葉土のような臭いがする ●数ヶ月おきに、専用のバイオチップの交換が必要な機種もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コンパクト ●処理時間が短く、一度に処理できる量が多い ●作動音が気になる場合がある ●臭いが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●大きなポリバケツを逆さにしたような形で、20cm程度土に埋めて設置 ●2基を交互に使用するとよい ●落ち葉なども同時に処理できる ●臭いや虫が発生する場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> ●ポリバケツのような容器で発酵液を取り出すコックが付いている ●臭いが気になる場合がある ●虫は発生しづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームセンター等で必要な材料のみを購入し、手作りすることができる ●臭いが少ない ●小バエなどの虫が発生する可能性がある
設置場所	軒下や車庫など雨のあたらない所 最近では、屋内で使用できるものもある	台所などの屋内	畑や庭など 排水がよく日当たりのよい所	屋内・屋外どちらでも 直射日光のあたらない所	ベランダや軒下など 風通しがよく雨のあたらない所
価格	4~5万円	5~6万円	3~8千円	3千円前後	500円~3千円
減容率	4分の1~10分の1	7分の1	—	—	—
こんな方に向いています	<ul style="list-style-type: none"> ●ベランダや車庫などで電源を確保できる場所がある ●堆肥が欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ●室内で処理をしたい ●なるべく手間をかけたくない 	<ul style="list-style-type: none"> ●堆肥を安くで手に入れたい ●家族数が多く、生ごみが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ●室内で処理をしたい ●堆肥や液肥が欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ●堆肥を安くで手に入れたい ●庭のない集合住宅に住んでいる ●子どもと一緒に取り組みたい

生ごみ処理機器の分類



生ごみ処理機器を購入された方に補助金がです

- ・対象者 鹿児島市に住所があり、生ごみ処理機器を家庭で使用する方
- ・補助金額
 - 電気式生ごみ処理機……1基につき購入金額の2分の1で、限度額は30,000円
1世帯につき1基まで
 - その他の生ごみ処理器……1基につき購入金額の2分の1で、限度額は3,000円
1世帯につき2基まで
- ・申請期間 購入後3ヶ月以内
- ・必要なもの 申請書・請求書・市税納付状況調査同意書、領収書の原本、振込口座の通帳の写し